

副住職として、  
母として、  
会津は  
可能性の宝庫。

ふじた あきな  
藤田 明愛さん(30代)

<柳津町>

副住職  
(家業)

2017年 Uターン

## 16歳の決意を30歳で実行したUターン

『柳津町は福満虚空蔵尊の門前町として栄えた町です。その昔、度重なる火災でこの町が燃えたことがあり、「災害にあわ(粟)ないように」と縁起担ぎをされた「あわまんじゅう」が町の特産品になっています。全国的に見ても高齢化が進んでいる奥会津エリアの入り口に位置し、役場の周辺にはスーパーや診療所、道の駅、旅館、飲食店などが集まり賑わっています。

その町なかから少し入ったところにある月光寺(がっこうじ)の藤田さんが副住職としてUターンされました。実家のお寺に戻ったきっかけや柳津町の魅力を月光寺にお伺いし取材しました。』

取材日 2022年8月25日

## 柳津町への移住と生活

### <移住のきっかけ>

もともと、16歳の時に姉と相談して私が実家のお寺を継ぐことを決めていました。高校2年生の時に得度式(頭を坊主にして僧になるという仏門の儀式)を受け、東京都の大学も就職先もお寺を継ぐための準備でした。

ただ、いつと決めていたわけではなく、Uターンしようと思った直接のきっかけは東日本大震災です。東京都内にいたので不安や心配がすごく募ってしまい、30歳の時に移ることにしました。

### <柳津町に戻ってから>

柳津町に移っても特に違和感はありませんでした。18歳まで住んでいた場所なので、そんなに大きく変わったという感じもしませんでした。

仕事としても、会津では同じ宗派の若手僧侶が集まる機会が結構あって、馴染むのに苦労はしませんでした。若手で顔を合わせているうちに主人と付き合うことになり、親同士も顔見知りでしたのでトントン拍子に結婚が決まりました。周りからは「あの二人が！」と驚かれたのですが、それもご縁だと思います。

主人の実家は喜多方市にあるお寺さんなんです。主人のお兄さんが跡を継いでいたので、次男の主人がうちに入ってくれました。うちは小さなお寺で父と私で壇務(だんむ)が可能なので、主人は今も実家のお寺に勤めています。



### <柳津町での子育て>

今は子どもも産まれて、1歳半になりました。近所をよく散歩するのですが、「大きくなったね～」とか声をかけられます。集落に子どもが少ないということもあるのですが、みんなが成長を見守ってくれている感じがします。都内では育児で孤独感を感じる人がいると聞きますが、柳津町ではまったく感じません(笑)

子どもが生まれてから更に柳津町は子育てにとってもいい環境だったんだと気が付きました。自分が学生の時には分からなかった町の良さが今ではよく分かります。

# 会津の魅力、それはどこでも遊べる。そして食べものが美味しい

## <柳津町の子育て支援>

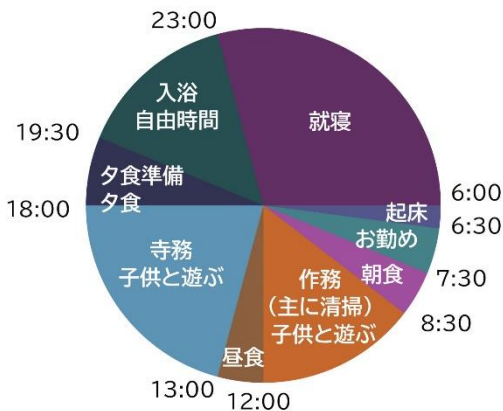
柳津町は子育てしやすいですね。子どもが生まれてから、町の保健師さんが本当にマメに巡回してくれて、子育て初心者には心強かったです。

あと、柳津町の保育園は0歳から無料ですし、給食費も医療費も無料。18歳までほとんどお金がかからないんじゃないかな、と思うくらい充実しています。ただ、町に産婦人科はないので車で30分程の大きな病院に通っていました。違う町まで行くと聞くと遠いと思うかもしれませんが、都内で30分移動は当たり前なので遠いとは思いませんでした。



仕事も楽しめるように努めている

## お寺で寝泊まりしている時のスケジュール



## <柳津町の魅力>

私は星を見るのが好きなのですが、家を一步出ただけで満天の星なんです。たまに主人と子どもを連れて星空ドライブに行くんですが、いっぱい星が広がって、その中にはっきり天の川がキレイに見えたりすると、本当に感動します。都内にいた時のことを考えると、柳津町って贅沢な環境だと思います。

あと、子どもがいるとどこでも遊び場になります。近くを散歩して花を見たり、川に行ったらウグイに餌をあげたり、雪が降ったらビニール袋1枚でずっと遊べます。いつでも自然と遊べるのは子どもにとってもいい環境だと思います。

食べ物も大事ですね。裏山にちょっと入れれば山菜が採れますし、夏には新鮮な夏野菜が食べられますし、秋には新米も美味しい。都内にいたら毎日こんなに新鮮な野菜や旬のものは食べられませんでした。

お水も清水が冷たくて美味しいんですよ。口にするとものが美味しいってやっぱり大事ですね。

他にも車で1時間ちょっとで湖畔のキャンプ場で遊べます。松原湖のほとりにあるキャンプ場なんですけど、ボートで迎えに来てくれて湖畔でBBQや釣りができるんです。今日は天気が良さそうだからちょっとキャンプに行こうか、なんてことができるんですよ。これが会津の良さだなあ、と思います。

まあ、虫が嫌いな人はちょっと大変かもしれませんがね。なにしろ山ですから(笑)

## 藤田さんの行動歴

柳津町生まれ ⇒ 東京都(大学) ⇒ 東京都(お寺に就職) ⇒ 柳津町へ

## 移住を検討している方にアドバイス

公共交通機関の選択肢が少ないので車が必要です。産婦人科は会津若松市の大きな病院にあります。



40年前に建てた本堂の前にて

**現住人口** 2,940人 男性／1,437人 女性／1,503人

**面積** 175.82平方キロメートル

**標高** 海拔 200.00m(柳津町役場)

**最寄駅** JR只見線「会津柳津駅」

**最寄IC** 磐越自動車道「会津坂下IC」

**保・幼・こ** 認可保育所 2か所

**小学校数** 公立 2校

**中学校数** 公立 1校

**高校数** なし(周辺の市町にあり)

**病院数** 診療所 2か所 歯科 1か所

**町の特徴** 1,200年の歴史がある福満虚空藏菩薩を中心に栄えた門前町があり、七日堂裸まいりや稚児行列などの伝統行事が今も文化として残っている。災害にあわないようにと願いが込められた「あわまんじゅう」が名物で、山間部の西山温泉は昔も今も湯治客で賑わっている。

**移住  
サポート  
窓口**

赤べこ伝説発祥の地 柳津町役場(みらい創生課)

柳津町ホームページ

<https://www.town.yanaizu.fukushima.jp/docs/2022062100014/>

電話:0241-42-2447

メール:mirai-sousei@town.yanaizu.fukushima.jp

